

平成12年度春夏作芝関係 除草剤・生育調節剤試験成績概要

財団法人 日本植物調節剤研究協会

平成12年度春夏作芝関係除草剤・生育調節剤試験成績検討会は、平成12年11月19日(火)～12月20日(水)に池之端文化センターにおいて開催された。

この検討会には、試験場関係者26名、委託関係者69名ほか、計103名の参集を得て、除草剤20薬剤

(291点)、生育調節剤3薬剤(20点)について、試験成績の報告と検討が行われた。

その判定結果および使用基準については、次の判定表に示す通りである。

平成12年度 春夏作芝関係除草剤・生育調節剤試験供試薬剤および判定一覧

A. 除草剤

薬 剤 名 (商品名) 有効成分および 含有率(%) 〔委託者〕	作物名 (品種)	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試験設計 〔対象雑草;ねらい〕 処理時期 ;薬量g・ml<水量ml>/㎡ ;処理方法等	判 定	内 容
1. AC-414 顆粒水和剤 (タプルアツブ) シクロスルファミロン 66%	コライシバ	適用性 新 規	ブラッサムガ・デーン、 埼玉緑地協会、 関西G研、 中国G連G研、 門司GC (5)	〔一年生広葉雑草〕 ①雑草発生前 0.03, 0.04, 0.06g<200-250> ; 土壌処理 ; インパ-ル水和剤 0.3g<200-250>	実・継	実) 〔コライシバ、ノシバ〕一年生広葉雑草 ・芝生育期、雑草発生前～発生初期(3葉期まで). ・0.03～0.06g<200～250ml>. ・土壌処理または茎葉処理. 継) ・ケンタッキーブルーグラス、ベレニアラグラスにおける効果、葉害の確認. ・コライシバ、ノシバ における年次変動の確認.
			ブラッサムガ・デーン、 埼玉緑地協会、 関西G研、 中国G連G研、 門司GC (5)	〔一年生広葉雑草〕 ②雑草発生初期 0.03, 0.04, 0.06g<200-250> ; 茎葉処理 ; インパ-ル水和剤 0.3g<200-250>		
	ノシバ	適用性 新 規	グリーンアライヤ、 総武CC、 南長野GC、 大阪農技セ、 関西G研 (5)	〔一年生広葉雑草〕 ①雑草発生前 0.03, 0.04, 0.06g<200-250> ; 土壌処理 ; インパ-ル水和剤 0.3g<200-250>		
			グリーンアライヤ、 総武CC、 南長野GC、 大阪農技セ、 関西G研 (5)	〔一年生広葉雑草〕 ②雑草発生初期 0.03, 0.04, 0.06g<200-250> ; 茎葉処理 ; インパ-ル水和剤 0.3g<200-250>		
	ケンタッキー ブルー グラス	適用性 新 規	札幌後楽園CC、 札幌不二ロイヤルGC、 那須ナ-ゼリ- (3)	〔一年生広葉雑草〕 ①雑草発生前 0.03, 0.04, 0.06g<200-250> ; 土壌処理 ; インパ-ル水和剤 0.3g<200-250>		
			札幌後楽園CC、 札幌不二ロイヤルGC、 那須ナ-ゼリ- (3)	〔一年生広葉雑草〕 ②雑草発生初期 0.03, 0.04, 0.06g<200-250> ; 茎葉処理 ; インパ-ル水和剤 0.3g<200-250>		
	ベレニアラ イグラス	適用性 新 規	廣済堂札幌CC、 ウイング F GC、 奥武蔵CC (3)	〔一年生広葉雑草〕 ①雑草発生前 0.03, 0.04, 0.06g<200-250> ; 土壌処理 ; 一任		
			廣済堂札幌CC、 ウイング F GC、 奥武蔵CC (3)	〔一年生広葉雑草〕 ②雑草発生初期 0.03, 0.04, 0.06g<200-250> ; 茎葉処理 ; 一任		
〔日本サイファニット〕						

A. 除草剤 つづき

薬 剤 名 (商品名) 有効成分および 含有率(%) 〔委託者〕	作物名 (品種)	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試験設計 〔対象雑草;ねらい〕 処理時期 ;薬量g・ml<水量ml>/㎡ ;処理方法等	判 定	内 容
2. DAA-982 水和剤 エトキシメソロン 10% ジチメ [®] 20% 〔大日本インキ 化学工業〕	コライシバ	適用性 継 続	〈植調研究所〉、 江戸崎CC、 埼玉緑地協会、 兵庫農技、 門司GC (4)	〔一年生雑草〕 雑草発生前 0.1、0.15、0.2g<250> ; 土壌処理 ; フロムヒ [®] イ-水和剤 0.1g<250>	実 ・ 継	実) 〔コライシバ [®] 、ノシバ [®] 〕一年生雑 草〕 ・ 芝生育期、雑草発生前。 ・ 0.1～0.2g<250ml>。 ・ 土壌処理。 継) ・ 連用試験での確認。 ・ 倍量薬害試験での確認。 ・ 実証試験での確認。
	ノシバ [®]	適用性 継 続	〈植調研究所〉、 江戸崎CC、 琵琶湖CC、 関西G研、 佐賀CC (4)			
3. DAH-981 水和剤 ジチメ [®] 40% 〔大日本インキ 化学工業〕	ケンタッキー ブルー グラス	適用性 継 続	廣済堂札幌CC、 札幌美容CC、 那須ナセリ- (3)	〔一年生イネ科雑草〕 雑草発生前 0.05、0.075、0.1g<250> ; 土壌処理 ; デイクトン乳剤 0.1ml<250>	実 ・ 継	実) 〔コライシバ [®] 、ノシバ [®] 、ケンタッキーブル -グラス、ベレアルライグラス〕 一年生 イネ科雑草〕 ・ 芝生育期、雑草発生前。 ・ 0.05～0.1g<200～300ml>。 ・ 土壌処理。 継) ・ ケンタッキーブル-グラスの連用試験で の確認。 ・ ケンタッキーブル-グラス、ベレアルライグ ラスの倍量薬害試験での確認。
	ベレアル ライグラス	適用性 継 続	廣済堂札幌CC、 泉パ [®] -タウンGC、 祁答院GC (3)			
4. DH-001 顆粒水和剤 DCPA 80% 〔大日本インキ 化学工業〕	コライシバ	作用性 新 規	植調研究所、 西日本G研 (2)	〔一年生雑草〕 雑草発生前初期 0.3、0.6、0.9g<150> ; 茎葉処理 ; ア-ジランSG 0.3g<150> ; スタム乳剤 1ml<150>	継	継) ・ 薬量と薬害の検討。 ・ 効果の確認。
	ノシバ [®]	作用性 新 規	植調研究所、 中国G連G研 (2)			
	コライシバ	適用性 新 規	小杉CC、美浦GC、 植調研究所、 東日本G研、 中国G連G研、 西日本G研 (6)	〔一年生イネ科雑草〕 雑草発生前初期 0.3、0.45、0.6g<150> ; 茎葉処理 ; スタム乳剤 1ml<150>		
	ノシバ [®]	適用性 新 規	小杉CC、美浦GC、 植調研究所、 東日本G研、 鳥取園試、 西日本G研 (6)			
5. HOK-9801 水和剤 イソキサベン 5% デニルコロ [®] 50% (つづく)	ベント グラス	作用性 新 規	那須ナセリ-、 東日本G研、 中国G連G研 (3)	〔一年生雑草〕 雑草発生前 0.2、0.4、0.8g<200> ; 土壌処理 ; パナフィン顆粒水和剤 0.6g<200>	実 ・ 継	実) 〔コライシバ [®] 、ノシバ [®] 〕一年生雑 草〕 ・ 芝生育期、雑草発生前。 ・ 0.2～0.4g<200ml>。 ・ 土壌処理。 継) ・ 連用試験の継続。 ・ 倍量薬害試験での確認。 ・ 実証試験での確認。 ・ ベントグラス、ケンタッキーブル-グラス： 適用性試験への移行可。
	ケンタッキー ブルー グラス	作用性 新 規	グリーンブライ-、 植調研究所、 東日本G研 (3)			
	コライシバ (連用)	作用性 継 続	植調研究所、 中国G連G研 (2)	〔連用薬害〕 H11秋→H12春→H12秋→H13春 雑草発生前 0.4g<200> ; 土壌処理		
	ノシバ [®] (連用)	作用性 継 続	植調研究所、 西日本G研 (2)			

A. 除草剤 つづき

薬 剤 名 (商品名) 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名 (品種)	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試験設計 [対象雑草; ねらい] 処理時期 ; 薬量g・ml<水量ml>/m ² ; 処理方法等	判 定	内 容
5. HOK-9801 水和剤 (つづき) [トクマ、 北興化学工業]	コウライバ	適用性 継 続	東日本現地、 小杉CC、美野里CC、 タイガースGC、 西日本G研、 久山CC (6)	[一年生雑草] 雑草発生前 0.2、0.3、0.4g<200> ; 土壌処理 ; わいワアワ 0.3ml<200>		
	ノシバ	適用性 継 続	東日本現地、 美野里CC、 埼玉緑地協会、 総武CC、 タイガースGC、 久山CC (6)			
	コナガシ ワ、ツツジ 類 他3種	緑化木	茨城農総園研、 鳥取園試、 福岡農総研 (3)	[緑化木に対する影響] 0.4g<200> ; 茎葉処理 0.8g<200> ; 土壌処理		
6. HSA-953 顆粒水和剤 エトキシメロン 60% [大日本インキ 化学工業]	コウライバ	適用性 継 続	佐野GC、 東日本G研、 リハ-富士CC、 兵庫農技 (4)	[一年生広葉雑草; 低薬量によ る土壌処理の検討] 雑草発生前 0.015、0.02、0.03g<250> ; 土壌処理 ; タザイン水和剤 0.04g<250>	実 ・ 継	実) [(コウライバ、ノシバ、ベントグ ラ、ケンタッキーブルーグ ラ、ベレアルグ ラ) 広葉雑草、ハマス、ヒメグ] 芝生育期、雑草発生前(3葉 期まで)、 ・ 広葉雑草 0.03~0.06g、 ハマス・ヒメグ 0.045~0.075g、 <200~300ml>。 ・ 土壌処理。 [(コウライバ、ノシバ) 一年生広 葉雑草] ・ 芝生育期、雑草発生前。 ・ 0.02~0.03g<250ml>。 ・ 土壌処理。 継) ・ ベレアルグ ラの倍量薬害試 験、連用試験での確認。 ・ 発生前処理における低薬量で の効果の確認。
	ノシバ	適用性 継 続	佐野GC、 リハ-富士CC、 甲府国際CC、 西日本G研 (4)			
	ベレアル グ	適用性 新 規	廣済堂札幌CC、 泉バ-クワンGC、 奥武蔵CC、 浜松シ-サイト GC、 祁答院CC (5)	[一年生広葉雑草] 雑草発生前 0.03、0.045、0.06g<200-250> ; 茎葉処理 ; インア-ワDF 0.04g<250>		
7. IDH-1105 顆粒水和剤 トリアツフラム 60% [出光興産]	コウライバ	適用性 新 規	ブラッサムガ-デン、 東日本現地、 美浦GC、 大月CC、 花屋敷GC、 門司GC (6)	[一年生雑草] 雑草発生前 0.04、0.05、0.06g<200-300> ; 土壌処理 ; イデトツフワワ 0.1ml<200-300>	実 ・ 継	実) [(コウライバ、ノシバ) 一年生雑 草] ・ 芝生育期、雑草発生前 ・ 0.04~0.06ml<200~300ml>。 ・ 土壌処理。 継) ・ 年次変動の確認。
	ノシバ	適用性 新 規	植調岩手、 東日本現地、 美浦GC、 南長野GC、 今治CC、 佐賀CC (6)			

A. 除草剤 つづき

薬 剤 名 (商品名) 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名 (品種)	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試験設計 [対象雑草;ねらい] 処理時期 ;薬量g・ml<水量ml>/m ² ;処理方法等	判 定	内 容
8. KUH-007 顆粒水和剤 カフェンストロル 45% レナシル 25% [理研グリーン、 クミヤ化学工業]	コライシバ	適用性 新 規	美野里GC、 東日本G研、 富士国際GC、 中国G連G研、 宮崎CC (5)	[一年生雑草] ①雑草発生前 0.2, 0.3, 0.4g<250-300> ; 土壌処理 ; バナフィン顆粒水和剤 0.6g<250>	継	継) ・ 効果、薬害の確認。
			美野里GC、 東日本G研、 富士国際GC、 中国G連G研、 宮崎CC (5)	[一年生雑草] ②雑草発生初期 0.2, 0.3, 0.4g<250-300> ; 土壌処理 ; 7月17日 0.3ml<250>		
	ノシバ	適用性 新 規	植調研究所、 佐野GC、 花屋敷GC、 中国G連G研、 久山CC (5)	[一年生雑草] ①雑草発生前 0.2, 0.3, 0.4g<250-300> ; 土壌処理 ; バナフィン顆粒水和剤 0.6g<250>		
			植調研究所、 佐野GC、 花屋敷GC、 中国G連G研、 久山CC (5)	[一年生雑草] ②雑草発生初期 0.2, 0.3, 0.4g<250-300> ; 土壌処理 ; 7月17日 0.3ml<250>		
9. KUH-913H フロアブル剤 ビス・トリバ・クナトリウム塩 9.2% [クミヤ化学工業]	ノシバ	適用性 継 続	東日本現地、 植調研究所、 東日本G研、 南長野GC、 宮崎CC (5)	[広葉雑草] 雑草生育期 0.1, 0.15, 0.2ml<150> ; 茎葉処理 ; MCP液剤	実・ 継	実) [(ノシバ)広葉雑草] ・ 芝生育期、雑草生育期。 ・ 0.1~0.2ml<150ml>。 ・ 茎葉処理。 継) ・ 連用試験での確認。 ・ 倍量薬害試験での確認。
10. MAC-1 フロアブル剤 カミロン 45% [丸紅]	ベント グラス (倍量)	作用性 継 続	東日本G研、 関西G研 (2)	[倍量薬害] 雑草発生前 2ml <300>、 4 <600>、 8 <1200> ; 土壌処理 ; 一任	実・ 継	実) [(ベント)グラス、ケンタッキー・ブル・グ ラス・メノカビ]) ・ 芝生育期、雑草発生前。 ・ 1~2ml<200~300ml>。 ・ 土壌処理。 継) ・ 連用試験の継続。 ・ 実証試験での確認。
	ケンタッキ ーブル グラス (倍量)	作用性 継 続	植調研究所、 那須ナ・セリ (2)			
	ベント グラス (連用)	作用性 継 続	那須ナ・セリ、 東日本G研 (2)	[連用薬害] H11春→H11秋→H12春→H12秋 雑草発生前 2.0ml<200-300> ; 土壌処理 ; 一任		
	ケンタッキ ーブル グラス (連用)	作用性 継 続	植調北海道、 那須ナ・セリ (2)			
	ベント グラス	適用性 継 続	美野里GC、 那須ナ・セリ、 奥武蔵CC、 浜松・サイト' GC (5)	[一年生イネ科雑草(スズメノカタビ ラ)及び一年生カタリハザ科雑草] 雑草発生前 1.0, 1.5, 2.0ml<200-300> ; 土壌処理 ; エイゲン水和剤 1.5 g<200-300>		
	ケンタッキ ーブル グラス	適用性 継 続	札幌後楽園CC、 泉バ・クワンGC、 グリーンプライヤ、 那須ナ・セリ (5)			
	コナカシ バ、ツジ 類 3種	緑化木	鳥取園試、 福岡農総研 (2)	[緑化木に対する影響] 4.0ml<200-300> ; 土壌処理 2.0ml<200-300> ; 茎葉処理		

A. 除草剤 つづき

薬 剤 名 (商品名) 有効成分および 含有率(%) 〔委託者〕	作物名 (品種)	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試験設計 〔対象雑草;ねらい〕 処理時期 ;薬量g・ml<水量ml>/㎡ ;処理方法等	判 定	内 容
11. MK-243 顆粒水和剤 イタノファン 50% 〔日本農業、 三菱化学〕	コウライシバ	適用性 新 規	宇都宮大学、 東日本G研、 大月CC、花屋敷GC、 中国G連G研、 西日本G研 (6)	〔一年生雑草〕 雑草発生前 0.15、0.2、0.3g<200-300> ; 土壌処理 ; トビエース水和剤 0.2g<200-300>	実・ 継	実) 〔コウライシバ、ノシバ〕一年生雑 草〕 ・ 芝生育期、雑草発生前、 ・ 0.2～0.3g<200～300ml>、 ・ 土壌処理、 継) ・ 年次変動の確認、 ・ 低薬量での効果の確認、
	ノシバ	適用性 新 規	宇都宮大学、 東日本G研、 大月CC、花屋敷GC、 中国G連G研、 西日本G研 (6)			
	コウライシバ	実 証	明 富士CC (1)	〔実証試験〕 雑草発生前 0.2g<200-300> ; 土壌処理 ; トビエース水和剤 0.2g<200-300>		
	ノシバ	実 証	明 富士CC (1)			
12. NOJ-120 顆粒水和剤 トリフロキシルフロキサリウム 塩 75% 〔明 富士CC〕	コウライシバ	作用性 新 規	植調研究所、 宇都宮大学	〔一年生雑草〕 ①雑草発生前初期 0.002、0.003、0.0045、0.006g <200-250> ; 茎葉処理 ; アーゲン80SG 0.25g<200-250>	継	継) ・ 効果、薬害の確認、
			植調研究所、 宇都宮大学	〔一年生雑草〕 ②雑草生育期 0.002、0.003、0.0045、0.006g <200-250> ; 茎葉処理 ; アーゲン80SG 0.25g<200-250>		
			植調研究所、 宇都宮大学	〔一年生雑草〕 ①雑草発生前初期 0.002、0.003、0.0045、0.006g <200-250> ; 茎葉処理 ; アーゲン80SG 0.25g<200-250>		
			植調研究所、 宇都宮大学	〔一年生雑草〕 ②雑草生育期 0.002、0.003、0.0045、0.006g <200-250> ; 茎葉処理 ; アーゲン80SG 0.25g<200-250>		
	コウライシバ	適用性 新 規	小杉CC、 東日本G研、 東広野GC、 中国G連G研、 西日本G研 (5)	〔一年生雑草〕 ①雑草発生前初期 0.003、0.0045、0.006g <200-250> ; 茎葉処理 ; アーゲン80SG 0.25g<200-250>		
			小杉CC、 東日本G研、 東広野GC、 中国G連G研、 西日本G研 (5)	〔一年生雑草〕 ②雑草生育期 0.003、0.0045、0.006g <200-250> ; 茎葉処理 ; アーゲン80SG 0.25g<200-250>		
			小杉CC、 東日本G研、 東広野GC、 中国G連G研、 西日本G研 (5)	〔一年生雑草〕 ①雑草発生前初期 0.003、0.0045、0.006g <200-250> ; 茎葉処理 ; アーゲン80SG 0.25g<200-250>		
			小杉CC、 東日本G研、 東広野GC、 中国G連G研、 西日本G研 (5)	〔一年生雑草〕 ②雑草生育期 0.003、0.0045、0.006g <200-250> ; 茎葉処理 ; アーゲン80SG 0.25g<200-250>		
ノシバ	適用性 新 規	小杉CC、 東日本G研、 東広野GC、 中国G連G研、 西日本G研 (5)	〔一年生雑草〕 ①雑草発生前初期 0.003、0.0045、0.006g <200-250> ; 茎葉処理 ; アーゲン80SG 0.25g<200-250>			
		小杉CC、 東日本G研、 東広野GC、 中国G連G研、 西日本G研 (5)	〔一年生雑草〕 ②雑草生育期 0.003、0.0045、0.006g <200-250> ; 茎葉処理 ; アーゲン80SG 0.25g<200-250>			

A. 除草剤 つづき

薬 剤 名 (商品名) 有効成分および 含有率(%) 〔委託者〕	作物名 (品種)	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試験設計 [対象雑草;ねらい] 処理時期 ;薬量g・ml<水量ml>/㎡ ;処理方法等	判 定	内 容
13. RGH-941 フロアブル剤 40% アラクロー 〔理研グリーン〕	コウライバ	作用性 継 続	植調研究所、 中国G連G研 (2)	〔一年生雑草〕 雑草発生前 0.6、0.8、1.0ml<200-300> ; 土壌処理 ; ハブ-ン乳剤 0.8ml<250>	実・継	実)〔コウライバ、ノシバ〕一年生雑 草〕 ・ 芝生育期、雑草発生前。 ・ 0.6～1ml<200～300ml>。 ・ 土壌処理。 継) ・ コウライバ、ノシバの年次変動の確 認。 ・ ケンタッキーブルーグラスの効果、薬害 の確認。 ・ 連用試験の継続。 ・ 実証試験での確認。
	ノシバ	作用性 継 続	植調研究所、 中国G連G研 (2)			
	コウライバ (倍量)	作用性 継 続	東日本G研、 関西G研 (2)	〔倍量薬害〕 雑草発生前 1.0g <200- 300>、 2.0 <400- 600>、 4.0 <800-1200> ; 土壌処理		
	ノシバ (倍量)	作用性 継 続	東日本G研、 関西G研 (2)			
	ケンタッキー ブルー グラス (倍量)	作用性 継 続	グリーンブライヤ、 植調研究所 (2)			
	コウライバ (連用)	作用性 継 続	東日本G研、 西日本G研 (2)	〔連用薬害〕 H11春→H11秋→H12春→H12秋 雑草発生前 1.0g<200-300> ; 土壌処理		
	ノシバ (連用)	作用性 継 続	東日本G研、 中国G連G研 (2)			
	ケンタッキー ブルー グラス (連用)	作用性 継 続	植調北海道、 那須ナセリ (2)			
	コウライバ	適用性 継 続	ブラッサムガーテン、 茨城農総園研、 美浦GC、 中国G連G研、 佐賀CC (5)	〔一年生雑草〕 雑草発生前 0.6、0.8、1.0g<200-300> ; 土壌処理 ; コウライバ、ノシバ ランレイ乳剤 1.2ml<300> ブルーグラス ハブナフィン顆粒水和剤 0.6 g<250-300>		
	ノシバ	適用性 継 続	ブラッサムガーテン、 茨城農総園研、 甲府国際CC、 タイガー-スGC、 祁答院CC (5)			
ケンタッキー ブルー グラス	適用性 継 続	札幌後楽園CC、 泉ハブ-クタウンGC、 植調研究所 (3)				
14. RYH-105 フロアブル剤 (フルハスフロアブル) オキサジクロホネ 30% 〔アベントイス クロップサイエ ンス ジャパン〕	コウライバ (連用)	作用性 継 続	植調研究所、 西日本G研 (2)	〔連用薬害〕 H10秋→H11春→H11秋→H12春 雑草発生前 0.2ml<250> ; 土壌処理	実	実)〔コウライバ、ノシバ〕一年生雑 草〕 ・ 芝生育期、雑草発生前。 ・ 0.075～0.15ml<200～300ml>。 ・ 土壌処理。

A. 除草剤 つづき

薬 剤 名 (商品名) 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名 (品種)	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試験設計 [対象雑草;ねらい] 処理時期 ;薬量g・ml<水量ml>/m ² ;処理方法等	判 定	内 容
15. SB-5521 顆粒水和剤 ベンディメタリン 53% [イス・ディー・エス バイオテック]	コウライバ (倍量)	作用性 新 規	植調研究所、 西日本G研 (2)	[倍量薬害] 雑草発生前 1.2g < 500>、 2.4g <1000> ; 土壌処理	実・ 継	実) [(コウライバ、ノシバ)一年生雑 草] ・ 芝生育期、雑草発生前。 ・ 0.3~0.6g <200~250ml>。 ・ 土壌処理。 継) ・ 年次変動の確認。 ・ 連用試験の継続。 ・ 実証試験での確認。
	ノシバ (倍量)	作用性 新 規	植調研究所、 西日本G研 (2)			
	コウライバ (連用)	作用性 新 規	植調研究所、 西日本G研 (2)	[連用薬害] H11秋→H12春→H12秋→H13春 雑草発生前 0.6g<200-250> ; 土壌処理		
	ノシバ (連用)	作用性 新 規	植調研究所、 西日本G研 (2)			
	コウライバ	適用性 新 規	江戸崎CC、 植調研究所、 奥武蔵CC、 東日本G研、 大月CC、 大阪農技七、 中国G連G研、 西日本G研、 佐賀CC (9)	[一年生雑草(本科を除く)] 雑草発生前 0.3, 0.45, 0.6g<200-250> ; 土壌処理 ; ウェイアツブ 70777 №0.5g<200-250>		
16. TG-02 粒剤 トリフルアリン 0.67% ベスロジン 1.33% [東洋ケリン、 ケウナミカル日本]	ノシバ	適用性 新 規	植調岩手、 植調研究所、 奥武蔵CC、 東日本G研、 甲府国際CC、 中国G連G研、 今治CC、 西日本G研、 宮崎CC (9)		実・ 継	実) [(コウライバ、ノシバ)一年生雑 草] ・ 芝生育期、雑草発生前。 ・ 10~20g。 ・ 土壌処理。 継) ・ ノシバにおける連用試験での確 認。 ・ 倍量薬害試験での確認。
	コウライバ	実 証	美浦GC、 東広野GC (2)	[一年生雑草] 雑草発生前 15g ; 土壌処理		
17. TH-913H4 フロアブル剤 (シバ タイト40) イマザスルロン 40% (つづく)	ベント グラス	作用性 新 規	グリーンライヤ (1)	[一年生広葉雑草] 雑草発生前 0.2ml<200-300>、 0.4 <400-600>、 0.8 <800-1200> ; 茎葉処理 ; シバタイトフロアブル 0.8ml<200-300>	実・ 継	実) [(コウライバ、ノシバ、ケンタッキーブル -グラス) 一年生広葉雑草、ヒメグサ] ・ 芝生育期、雑草発生前 (3 葉期まで)。 ・ 0.1~0.2ml<200~300ml>。 ・ 土壌処理。 継) ・ キンゴケに対する処理方法につ いて。 ・ 連用試験での確認。 ・ 実証試験での確認。
	コウライバ	適用性 新 規	小杉CC、 奥武蔵CC、 東日本G研、 東広野GC、 西日本G研 (5)	[キンゴケ] ①コガ発生初期 0.1, 0.15, 0.2ml<100> ; 茎葉処理		
			小杉CC、奥武蔵CC、 東日本G研、 東広野GC、 西日本G研 (5)	[キンゴケ] ②コガ増殖期 0.1, 0.15, 0.2ml<100> ; 茎葉処理		

A. 除草剤 つづき

薬 剤 名 (商品名) 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名 (品種)	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試験設計 [対象雑草;ねらい] 処理時期 ;薬量g・ml<水量ml>/m ² ;処理方法等	判 定	内 容
17. TH-913H4 フロアフル剤 (つづき) [武田薬品工業]	コライシバ	実 証	中国G連G研 (1)	[実証試験] コ発生初期 0.15ml<100> ;茎葉処理		
	ケンタッキー ブルー グラス	適用性 新 規	札幌国際CC, グリーンフレイヤ, 植調研究所 (3)	[一年生広葉雑草] 雑草発生初期 0.1, 0.15, 0.2ml<200-300> ;茎葉処理 ;インフル水和剤 0.3g<200-300>		
18. TT-9 乳剤 pethoxamid 60% [トクマ、ト・メン]	コライシバ	適用性 継 続	植調研究所, 浜松シ・サイト GC, 琵琶湖CC, 兵庫農技, 西日本G研 (5)	[一年生イネ科雑草] 雑草発生前 0.4, 0.6, 0.8ml<200-300> ;土壌処理 ;ウェイアップフロアフル剤 0.4ml<200-300>	実・ 継	実) [(コライシバ、ノシバ) 一年生イ ネ科雑草] ・芝生育期、雑草発生前. ・0.6~0.8ml<200~300ml>. ・土壌処理. 継) ・低薬量での効果の確認. ・連用試験での確認. ・実証試験での確認.
	ノシバ	適用性 継 続	植調研究所, 富士国際GC, 琵琶湖CC, 中国G連G研, 西日本G研 (5)			
19. UBH-001 SC剤 新規化合物 50% [宇部興産]	コライシバ	作用性 新 規	東日本G研, 西日本G研 (2)	[一年生雑草] 雑草発生前 0.2, 0.3, 0.4ml<200-300> ;土壌処理 ;一任	一	(・薬量と効果の検討.)
			東日本G研, 西日本G研 (2)	[一年生雑草] 雑草発生初期 0.2, 0.3, 0.4ml<200-300> ;土壌処理 ;一任		
20. AC-414 水和剤 (ダブリアップ) シクロスファミロン 10% [日本サイナミッド]	コライシバ (連用)	作用性 継 続	西日本G研 (2)	[一年生広葉雑草] H10秋→H11春→H11秋→H12春 雑草発生前 0.4 g<200-250> ;土壌処理 ;AC-414水和 0.4 g<200-250>	実・ 継	実 [(コライシバ、ノシバ) 一年生広 葉雑草] ・芝生育期、雑草発生前～発生 初期(3葉期まで). ・0.2~0.4g<200~250ml>. ・土壌処理または茎葉処理. 継) ・実証試験での確認.
	ノシバ (連用)	作用性 継 続	中国G連G研 (2)			

B. 生育調節剤

薬 剤 名 (商品名) 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名 (品種)	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試験設計 [ねらい] 処理時期 ; 薬量g・ml<水量ml>/m ² ; 処理方法等	判 定	内 容
1. AEH-001 SC剤 既知化合物A 480g/l 既知化合物B 60g/l [アベンスクロップサイエ ンシヤホン]	洋 芝、 日本芝	作用性 新 規	植調研究所 (1)	[刈込み軽減、及び広葉雑草に 対する効果] 芝生育期 0.2~1.0g<150-200> ; 茎葉処理	継	・成分未公開。 ・効果、薬害の確認。
	ノシバ	適用性 新 規	ブラッサムカ-デン、 植調研究所、 東日本G研、 中国G連G研、 西日本G研 (5)	[生育抑制による刈込み軽減] 芝生育期 0.25, 0.5, 0.75g<150-200> ; 茎葉処理		
2. CG-186 マイクロエマルジョン剤 (ブリスモックス) トリネキサバクエチル 10.4%	ベント グラス	適用性 新 規	札幌芙蓉CC、 ブラッサムカ-デン、 浜松シサイトGC、 中国G連G研、 祁答院GC (5)	[生育抑制による刈込み軽減] 芝生育期 0.07, 0.11, 0.14ml<150-250> ; 茎葉処理 ; プリテWSB水和剤 0.04 g<150-250>	実・ 継	実) [(コライシバ、ノシバ、ベントグラス、 ケンタッキーブルグラス)生育抑制効果 による刈込み軽減] ・芝生育期。 ・コライシバ、ノシバ; 0.05~0.1ml、 ベントグラス; 0.07~0.14ml、 ケンタッキーブルグラス; 0.1~0.2ml <150~250ml>。 ・茎葉処理。
[ノバルティス アクロ]	ケンタッキ- ブル- グラス	適用性 新 規	札幌不二ロイヤルGC、 泉パ-クタウンGC、 グリーンブライヤ-、 植調研究所、 那須ナ-セリ (5)	[生育抑制による刈込み軽減] 芝生育期 0.1, 0.15, 0.2ml<150-250> ; 茎葉処理 ; プリテWSB水和剤 0.06g<150-250>	継)	・ベントグラス、ケンタッキ-ブル-グラスの 年次変動の確認。
3. KUH-833FH フロアブル剤 (ヒノロック) プロベキサジオンカルシウム塩 25%	ケンタッキ- ブル- グラス	適用性 継 続	札幌国際CC、 廣済堂札幌CC、 札幌芙蓉CC、 那須ナ-セリ (4)	[生育抑制による刈込み軽減] 芝生育最盛期 0.04, 0.06, 0.08ml<200> 0.04, 0.06ml <100> ; 茎葉処理 ; プリテWSB水和剤 0.04 g<200>	実・ 継	実) [(コライシバ、ノシバ、ケンタッキ-ブル- グラス)生育抑制効果による刈 込み軽減] (コライシバ、ノシバ) ・芝生育期。 ・スホ-ツター7等刈込み回数が多い 場合: 0.04~0.08~0.04~ 0.08g <200ml>。 77, 公園、堤とう等刈込み回数 の少ない場合: 0.3~0.7g <200ml>。 ・茎葉処理。 (ケンタッキ-ブル-グラス) ・芝生育期。 ・0.04~0.08ml<200ml>。 ・茎葉処理。 継) ・ケンタッキ-ブル-グラスでの水量と効 果の確認。 ・低薬量2回処理における効果 の年次変動について。 ・実証試験での確認。 ・翌年の芝に対する影響につい て。
[クレイ化学工業]						